

平成14年3月期の不良債権処理について

平成14年3月期は、今般の経営統合を踏まえ、来期以降の収益基盤を確固たるものとすべく抜本的な不良債権処理を実施しました結果、単体ベースでの銀行勘定不良債権処理額は3,177億円となりました。主な内訳は、貸出金償却848億円、個別貸倒引当金繰入2,154億円、株式会社共同債権買取機構関連損失98億円、債権放棄損15億円、バルクセール等債権売却損61億円等となりました。これらに信託勘定(元本補てん契約のある信託勘定、以下同じ)を含めた合算不良債権処理額は3,217億円、一般貸倒引当金繰入を加えた与信関連費用は3,955億円となりました。

資産の自己査定と償却・引当について

当行では、金融庁の金融検査マニュアルならびに日本公認会計士協会の実務指針などに準拠して、行内基準として「資産の自己査定基準」および「償却および引当金の計上基準」を制定しています。これらの基準により厳格な自己査定を実施するとともに、その結果に基づき適正な償却・引当を行っています。この自己査定および償却・引当の結果については、当行の資産査定部が検証し、検査部が内部監査を、さらに監査法人が外部監査を実施することで牽制機能を確保しています。

貸出金等の与信関連資産(債権)の自己査定は以下のように実施しています。

債務者の実態的な財務内容、資金繰り、収益力等により、その返済能力を検討して債務者を正常先、要注意先、破綻懸念先、実質破綻先および破綻先に区分します。なお、債務者区分が要注意先となった債務者のなかで、その貸出債権に要管理債権(3カ月以上延滞債権・貸出条件緩和債権)がある先は要注意先(要管理先)として区別して管理しています。この債務者区分を踏まえ、債権の資金用途等を個別に検討し、担保や保証等の状況を勘案のうえ、債権の回収の危険性または価値の毀損の危険性の度合いに応じて、債権を分類します。

上記の債務者区分と債権分類に基づき、適正な償却・引当を実施しています。

開示債権について

自己査定の結果については「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(以下、金融再生法)に基づく開示債権および銀行法に基づくリスク管理債権をそれぞれ開示(信託勘定を含む)しています。

平成14年3月末における金融再生法に基づく開示債権は、単体ベースで、破産更生債権およびこれらに準ずる債権2,050億円、危険債権6,907億円、要管理債権5,963億円の合計1兆4,922億円となり、前年比6,784億円増加しました。また、上記債権に対する引当、担保・保証等による全体の保全率は77.46%となっています。なお、連結ベースでは1兆5,200億円となります。

リスク管理債権は、単体ベースで、破綻先債権712億円、延滞債権7,837億円、3カ月以上延滞債権90億円、貸出条件緩和債権5,873億円の合計1兆4,513億円となり、前年度比6,575億円増加しました。また、連結ベースでは1兆4,535億円となりました。なお、貸出金に対する比率はそれぞれ14.43%、14.47%となっています。

開示債権が前年比大幅に増加しましたのは、経営統合を踏まえ「不良債権問題」の終息に向けた対応をすべく、債務者の業績回復見込みや借入状況を一層厳格に査定し債務者区分を見直したことや、要管理債権の選定基準を厳格化し、それを厳正に運用したことによるものです。

不良債権のオフバランス化について

破綻懸念先以下の債権について、平成14年3月期は上期1,609億円、下期1,320億円の合計2,930億円のオフバランス化を実施しました。これに対し、新規に破綻懸念先以下となる債権が上期736億円、下期5,888億円の合計6,624億円発生しましたので、平成14年3月末のオフバランス化対象債権額は8,958億円と平成13年3月末の5,264億円から3,693億円増加しました。

なお、オフバランス化の進捗率については、平成12年度上期以前発生分65.9%、平成12年度下期発生分が54.5%、平成13年度上期発生分が48.7%となっています。

■ 不良債権処理の内訳

(単位:億円)

	平成12年3月期	平成13年3月期	平成14年3月期	前期比増減
不良債権処理額	1,493	1,450	3,177	1,727
貸出金償却	538	775	848	72
個別貸倒引当金繰入	724	510	2,154	1,644
特定債務者支援引当金繰入	62	—	—	—
(株)共同債権買取機構関連損失	178	143	98	△44
債権放棄損	—	—	15	15
その他債権売却損	9	26	61	34
特定海外債権引当勘定繰入	△20	△5	△1	3

■ 債務者区分ごとの償却および引当の概要

自己査定した債務者区分	償却および引当の概要(銀行勘定)
正常先	平均残存期間を勘案して算出された適正な貸倒実績率に、将来見込み等必要な修正を加えた予想損失率に基づき、今後1年分の予想損失額を一般貸倒引当金として計上しています。
要注意先	
要注意先 (要管理先)	平均残存期間を勘案して算出された適正な貸倒実績率に、将来見込み等必要な修正を加えた予想損失率に基づき、今後3年分の予想損失額を一般貸倒引当金として計上しています。
破綻懸念先	債務者単位で、合理的に見積もられた回収可能な部分を除いた残額を個別貸倒引当金として引当てています。その他の債務者については、過去の貸倒実績率に将来見込み等必要な修正を加味した予想損失率にて個別貸倒引当金を引当てています。
実質破綻先	債権金額から担保および保証による回収見込額を控除した残額を個別債権ごとに償却するか、個別貸倒引当金を計上しています。
破綻先	

■ 金融再生法上の債権区分の説明

金融再生法による債権区分	各債権区分の説明
正常債権	正常先に対する債権および要注意先に対する債権のうち要管理債権に該当する債権以外の債権
要管理債権	要注意先に対する債権のうちの「3カ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する貸出債権
危険債権	破綻懸念先に対する債権
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	実質破綻先に対する債権および破綻先に対する債権

■ 金融再生法基準による開示債権の状況 (銀行勘定と元本補てん契約のある信託勘定の合算)

(単位：億円)

	平成13年3月末						平成14年3月末					
	単体			連結			単体			連結		
	合計額	銀行勘定	信託勘定	合計額	銀行勘定	信託勘定	合計額	銀行勘定	信託勘定	合計額	銀行勘定	信託勘定
破産更生等債権	1,742	1,672	70	2,031	1,960	70	2,050	2,011	38	1,937	1,898	38
危険債権	3,521	3,458	63	1,925	1,862	63	6,907	6,804	103	7,193	7,090	103
要管理債権	2,873	2,824	48	2,783	2,734	48	5,963	5,788	175	6,069	5,894	175
小計	8,137	7,955	182	6,739	6,557	182	14,922	14,605	316	15,200	14,883	316
正常債権	107,717	102,644	5,073	105,195	100,121	5,073	92,718	88,592	4,126	91,081	86,954	4,126
合計	115,855	110,600	5,255	111,934	106,679	5,255	107,641	103,197	4,443	106,282	101,838	4,443

(注) 1. 平成13年3月末は部分直接償却額(単体：3,002億円、連結：4,770億円)控除後の計数です。

2. 平成14年3月末は部分直接償却額(単体：2,793億円、連結：2,917億円)控除後の計数です。

■ 自己査定状況 (単体)

分類債権 債務者区分	金融再生法の 開示基準	自己査定				保全状況	(単位：億円) 金融再生法に 基づく保全率
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類		
破綻先/ 実質破綻先 (合計 2,050)	破産更生債権 およびこれらに 準ずる債権 2,050	銀) 790 信) 4 計) 794	銀) 1,221 信) 34 計) 1,256	引当率 100%	直接償却	引当金 (439) 担保/保証 (1,610)	破産更生債権 およびこれらに 準ずる債権 100%
破綻懸念先 (合計 6,907)	危険債権 6,907	銀) 3,001 信) 5 計) 3,007	銀) 2,881 信) 88 計) 2,969	銀) 921 信) 9 計) 931	(除く関連会社) 銀) 651 信) 9 計) 660	引当金 (2,106) 担保/保証 (3,870)	危険債権 86.52%
破綻懸念先 (除く関連会社) (合計 4,419)		銀) 2,247 信) 4 計) 2,251	銀) 1,429 信) 77 計) 1,507	引当率 69.33%			
要 注 意 先	要管理債権 5,963	銀) 868 信) 44 計) 912	銀) 8,682 信) 379 計) 9,062			引当金 (1,027) 担保/保証 (2,503)	要管理債権 59.21%
	小計 14,922						
	その他の 要留意先 (合計 15,546)	銀) 5,886 信) 29 計) 5,915	銀) 9,394 信) 236 計) 9,630				要管理債権 銀) 5,788 信) 175 計) 5,963
	正常債権 92,718						
	正常先 (合計 73,162)	銀) 69,549 信) 3,612 計) 73,162					全体の保全率 77.46%
合計	合計	非分類 83,791	Ⅱ分類 22,918	Ⅲ分類 931	Ⅳ分類 -		

■引当の状況

(単位: 億円)

	平成12年3月末		平成13年3月末		平成14年3月末			
	単体	連結	単体	連結	単体	前期比増減	連結	前期比増減
貸倒引当金	1,888	1,874	2,127	1,923	3,972	1,845	4,195	2,272
一般貸倒引当金	612	697	666	734	1,403	737	1,464	729
個別貸倒引当金	1,248	1,158	1,440	1,175	2,549	1,109	2,718	1,543
特定海外債権引当勘定	26	18	21	13	19	△1	12	△1
特定債務者支援引当金	550	304	246	—	—	△246	—	—
(信託)債権償却準備金	19	19	16	16	13	△2	13	△2
引当金総額	2,457	2,197	2,390	1,939	3,986	1,595	4,209	2,269

■リスク管理債権情報 (銀行勘定と元本補てん契約のある信託勘定の合算)

(単位: 億円)

	平成12年3月末		平成13年3月末		平成14年3月末			
	単体	連結	単体	連結	単体	前期比増減	連結	前期比増減
破綻先債権	1,033	868	977	994	712	△264	728	△266
延滞債権	4,828	3,907	4,088	2,500	7,837	3,748	7,737	5,237
3カ月以上延滞債権	193	285	218	256	90	△128	104	△152
貸出条件緩和債権	3,813	3,902	2,654	2,526	5,873	3,219	5,964	3,438
リスク管理債権合計	9,867	8,964	7,938	6,278	14,513	6,575	14,535	8,257

(注) 1. 平成12年3月末は部分直接償却額(単体: 3,524億円、連結: 5,605億円)控除後の計数です。
 2. 平成13年3月末は部分直接償却額(単体: 3,002億円、連結: 4,770億円)控除後の計数です。
 3. 平成14年3月末は部分直接償却額(単体: 2,793億円、連結: 2,917億円)控除後の計数です。

■不良債権の最終処理 (オフバランス化)

破綻懸念先以下の債権残高 (銀行勘定と元本補てん契約のある信託勘定の合算)

(単位: 億円)

(単位: 億円)

	平成12年度 上期末	平成12年度 下期末 (A)	平成13年度 上期末 (B)	平成13年度 下期末 (C)	オフバランス化 進捗率	平成13年度		
						オフバランス化 実績	(うち上期) (B)-(A)	(うち下期) (C)-(B)
平成12年度上期以前分	7,026	4,598	3,204	2,390	65.9%	△2,208	△1,393	△814
破産更生等債権	1,665	1,525	1,084	1,154	30.7%	△371	△440	69
危険債権	5,361	3,072	2,119	1,236	76.9%	△1,836	△953	△883
平成12年度下期発生分		665	449	302	54.5%	△363	△216	△147
破産更生等債権		217	142	177	18.0%	△39	△74	35
危険債権		448	307	124	72.2%	△324	△141	△182
平成13年度上期発生分			736	377	48.7%	△359	—	△359
破産更生等債権			244	149	39.0%	△95	—	△95
危険債権			491	228	53.5%	△263	—	△263
平成13年度下期発生分				5,888	—			
破産更生等債権				569	—			
危険債権				5,318	—			
合計	7,026	5,264	4,390	8,958	—	△2,930	△1,609	△1,320

(注) オフバランス化の進捗率は発生期末および平成13年度下期期末時点の債権残高により算出しています。

平成13年度におけるオフバランス化の内訳

(単位: 億円)

	平成13年度
清算型処理	△414
再建型処理	△750
再建型処理に伴う業況改善	△52
債権流動化	△1,221
直接償却	472
その他	△964
合計	△2,930

清算型処理	清算型倒産手続き(破産、特別清算)による債権切捨て・債権償却
再建型処理	再建型倒産手続き(会社更生、民事再生、和議、会社整理)による債権切捨て、特定調停等民事調停による債権放棄、私的整理による債権放棄
その他	回収・返済、債務者の業況改善等